

S-1+CPT-11(IRIS)+Cetuximab(Cmab)

〈対象疾患〉切除不能/進行再発 結腸・直腸癌

治療内容(1クール期間: 28日・総クール数: 回)

	薬品名	1日投与量	手技	投与ルート	投与時間 ・速度	投与日 1・・・8・・・15・・・22・・・28
①	生理食塩水	50ml	ルート キープ・ フラッシュ 用	主管		day 1, 8, 15, 22
②	ポララミン(5mg) デキサメタゾン(デキサート) (6.6mg) 生理食塩水	1A 1V 100ml	点滴静注	側管	30分	day 1, 8, 15, 22
③	アービタックス(初回400mg/m ²) 生理食塩水 (初回400ml)	250mg/m ² 200ml	点滴静注	側管	60分 (初回 120分)	day 1, 8, 15, 22
④	生理食塩水	100ml	点滴静注	側管	30分	day 1, 8, 15, 22
⑤	アロキシ(0.75mg) 生理食塩水	1V 100ml	点滴静注	側管	30分	day 1, 15
⑥	イリノテカン(CPT-11) 生理食塩水	125mg/m ² 250ml	点滴静注	側管	90分	day 1, 15
⑦	エスエーワン 1.25m ² > 40mg/回 1.25m ² ≤ <1.5m ² 50mg/回 1.5m ² ≤ 60mg/回	左記		経口	2回(朝, 夕食後) /日	Day1より14日間連 日投与 (14日間休薬)
⑧						

〈備考〉

- ・4週を1クールとして繰り返す。
- ・大腸癌治療ガイドライン(2016年版)で示されたIRIS+BmabのCPT-11の用量(125mg/m²)で記載
- ・アービタックスは初回のみ400mg/m²で投与。2回目以降は250mg/m²で投与する。infusion reactionがあるためゆっくりと投与する。投与後1時間は経過観察を行う。
- ・エスエーワン ①1.25m²> 40mg/回 ②1.25m²≤ <1.5m² 50mg/回 ③1.5m²≤ 60mg/回にてday1-14投与する。(1日2回 14日間連日投与14日間休薬)
- ・遅発性下痢に対しては炭酸水素ナトリウム(重曹)1.5g/日毎食後 day1-4,day15-18投与する。
- ・嘔気・嘔吐対策としてプリンペラン(5mg)3T/日 毎食後 day1-4,day15-18投与する。